

# 「第43回東海地区 みどりの少年団 サマージャンボリー」 を開催しました

8月6日から8日にかけて、東海三県のみどりの少年団員72名が一室に集い、「第43回東海地区みどりの少年団（隊）サマージャンボリー」（国土緑化推進機構、三菱UFJ環境財団、愛知県・三重県・岐阜県の各緑化推進委員会主催）を愛知県新城市「愛知県民の森」で開催しました。今年は、厳しい暑さの中、室内での行事を中心にを行い、団員同士の絆と交流を深めました。

## ●一日目（8月6日）

開会式、班旗づくり、  
飯盒炊さん（カレーライス作り）、  
森のクイズ・雅楽鑑賞

## ●二日目（8月7日）

木工工作（サイコロパズル）づくり、  
川での水遊び、キャンプファイヤー。

## ●三日目（8月8日）

記念写真撮影、思い出の寄せ書き、閉会式。



集合写真



カレーライスづくり



森のクイズ



雅楽鑑賞



サイコロパズルづくり



川遊び



キャンプファイヤー

三日間の短い期間でしたが、みどりの少年団のみんなは、すぐに仲良くなり、力を合わせて夕食づくりや木工工作に取り組み、夏休みの良い思い出になったと思います。

岐阜県からは、海津市みどりの少年団、北方小学校みどりの少年団の2団33名が参加しました。引率者・カウンセラー・県の職員の皆様、モリトピア愛知、三重県・愛知県緑化推進委員会など関係の皆様には大変お世話になりました。来年は三重県（熊野方面）で開催される予定ですので、みどりの少年団の皆様に参加をお待ちしています。

公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 専務理事 黒崎 隆司

## 岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアムの活動を紹介します

「岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム」（以下、コンソーシアム）は、林業・木材産業分野において産学官連携による新たな技術の開発やその普及を図るために平成26年9月に設置されました。涌井史郎森林文化アカデミー学長を理事長とし、現時点で県内外の103者の会員により構成されています。

コンソーシアムでは、テーマごとに6つのワーキンググループ（以下、WG）を設け、それぞれ課題解決に向けた活動や新たな技術開発等を実施しています。主な活動としては、欧州製の獣害防止対策資材（Tubex）の県内全域での効果検証や早生樹（コウヨウザン）の試験施工に取り組み、また、4事業体を対象に木材の生産性の向上に向け、事業体ごとに現場で発生している課題を抽出して、作業性や効率性を向上するための方法を経営側に提案し実践していく「改善実施プロジェクト」に取り組んでいます。

また、会員企業から物品の寄附を受け、森林林業分野での活用を検証する取り組みも実施しています。大和リース(株)より寄附をいただいた気象観測等支援システム「PaddyWatch」を森林環境の変化等の観測に使用しているほか、(株)クボタよりトラクターを寄附いただき、現在は美濃加茂市内の里山林整備にトラクターを活用できないか実地検証を行っています。



▲トラクターによる竹林整備時の竹の搬出



▲Tubexを併用したコウヨウザンの植栽



▲会員企業による企業説明会の様子

さらには、森林文化アカデミーの学生と会員企業とのマッチングを図るための企業説明会の開催も実施しています。10月16日にはWGの中間報告会とともに、外部の講師を招いての講演会を行う予定としています。

今後もコンソーシアムでは課題解決に向けた取り組みや、会員内外のビジネスマッチングにつながる取り組みを支援していきます。企業・団体様でご関心のある方は、お気軽に事務局までご相談ください。

【岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム 事務局】 ●詳しい内容を知りたい方は TEL 0575-35-2535 森林文化アカデミー 森林技術開発支援センター 産学官連携係まで